

大規模災害対応救急隊(BLUE-CAT)の主な活動

No.1



現場到着した医療チームに負傷者や事故の状況を説明し、任務分担を調整する

No.2



医療チームを救助ポイントへ誘導し、救助隊の救出活動と救命処置が同時進行で実施される



BLUE-CAT救急指揮所では負傷者情報や医療情報などを収集



No.3



医療チームと救急隊のトリアージ(緊急度選別)や救護所内での救命処置がスムーズに連携活動できるように活動内容を調整する

No.5



「兵庫県広域災害・医療情報システム」の医療情報により搬送先を指示する

No.4



大規模災害対応救急隊の活動イメージ

通常時（ワークステーション方式）

①中央市民病院での研修 365日
(9:00~17:30)

・病院実習
・薬剤投与 など

中央市民病院

A B C

研修生(救急救命士)

②中央市民病院ドクターカー対応 365日
(9:00~17:30) 救急隊+医療チーム

A B C

中央市民病院

ドクターカー

③水上救急隊として救急活動 365日
(24時間対応) ポートアイランド内限定

現場出動

A B C

大規模災害時（BLUE-CATとして現場出動）

部署位置

現地本部

調整所

警察

自衛隊

関係機関

災害現場

①医療チームを救助ポイントへ誘導

②医療チームに対する調整（トリアージ、治療、搬送）

③災害医療情報システムを活用した救急隊の搬送指揮

病院

情報通信機器

指揮調整

①救助ポイントへの誘導

災害現場

②医療チームの活動調整・誘導

医療チーム

中央市民病院

神大付属病院

災害医療センター

トリアージ・治療・搬送

神戸消防

エアータント

トリアージポスト

・緊急消防援助隊
・兵庫県内応援隊

神戸